

模範愛育班の指定

愛育班を普及し、その活動を充実させるため、次の条件により模範的な愛育班を「模範愛育班」として指定し、見学実習の場とします。

1. 愛育班組織が確立し、その活動が他の模範となるものであること。
2. 愛育班活動の見学実習地として、本会が行う研修会の研修生又は他市町村の愛育班関係者を受け入れることができること。

令和6年度は下記の愛育班を指定します

山梨県愛育連合会

「愛育班員の手記」入選作一覧

優秀作

県名	氏名	所属	タイトル
岡山県	さとう ちずこ 佐藤 千津子	倉敷市愛育委員会連合会	わたしの生涯の宝物

佳作

県名	氏名	所属	タイトル
山梨県	おおく ぼ かおり 大久保 香	ほくと し 北杜市母子愛育会武川愛 育班	有事に生きる平時から顔の見える 関係
岡山県	いけがみ のぶ こ 池上 展子	岡山市愛育委員協議会	愛育活動に出会えてよかった
大分県	しゅくり ただあき 宿利 忠明	く す まちあい 玖珠町愛育健康づくり推 進協議会	健康は「キョウヨウ」と「キョウ イク」

手記 優秀作

わたしの生涯の宝物

岡山県 倉敷市愛育委員会連合会

佐藤 千津子



昭和62年義母の介護を終えた後、近所の愛育委員さんに誘われ、翌年から愛育委員になりました。検（健）診の手伝いや子育て支援、高齢者への見守りなど、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代への活動に驚きました。そして、こんなにも地域の住民に密着した活動に出会ったのも初めてでした。思いおこせば、私が子育てをしていた時、近所のおせっかいおばさんの声掛けにどれだけ助けられていたことか。それを自分がすることになるとは、夢にも思いませんでした。もともとおせっかい好きの私にはぴったりの活動でもありました。充実した日々を送り10年が過ぎた頃、仕事上のトラブルで眠れない夜が続きました。普段は気にならない時計のチツ、チツ、チツという音。食欲もなくなり、車の運転さえもできなくなってしまったのです。そんな時、愛育や仕事の仲間たちが病院や会合の送迎だけではなく、いろいろな面でサポートしてくれ、いつの間にか時計の音も気にならなくなっていました。しんどい時期を支えてくれた家族や多くの仲間たちのおかげで立ち直ることができたのです。改めて感謝の気持ちと、思いやりの心を持つことの大切さを学びました。あれから20数年が過ぎ、平成30年7月豪雨災害で、倉敷市真備地区は壊滅的な被害を受けました。いてもたってもいられず、私たちは直ぐに災害ボランティアセンターの運営スタッフに加わり、活動を開始しました。多くの応援で徐々に復活していきました。一難去ってまた一難。コロナ禍での自粛活動が長引き、心が折れそうになったこともありました。それでも、みんなと工夫を凝らしながら、地域住民への声掛けや見守りは続けてきました。長年の活動から得た学びや経験は、私の原動力でもあり、生涯の宝物です。これからも、健康で明るい地域づくりを目指して、頑張りたいと思います。

手記 佳作

有事に生きる平時から顔の見える関係

山梨県 北杜市母子愛育会武川愛育班

大久保 香



私の生まれた家庭は父親が乱暴で不在がち。いわゆる機能不全家庭で母は貧困の中、一人
で出産。自分の手で胎盤を引きずり出し当時6歳の姉が私を産湯で洗ってくれる。そんな過
酷な環境下に産まれ育ちました。また、実兄が2歳になる直前に池に落ちて溺死。私も2歳
の時、真冬の深夜に仕事にでている母を探して家を脱走。奇跡的に通りかかった近所の方に
保護されました。この子は誰の子か。平時から顔の見える関係が作られることは子どもの命
を守るためにとても重要だ！ということを身をもって経験していました。機能不全家庭の影
響で生きているのが辛かった幼少期でしたが大人をみれば元気に挨拶をし、地域の活動にも
たくさん参加。他者との交流を多く経験することで社会性が育ち自立していく上ですごい力
になりました。また、小さな幸せをしっかりと噛み締められる心の真っすぐさは子どものこ
ろから周囲の大人に目をかけていただけた賜物だと思います。現在、私は暴力をふるう父の
影響で男性に人生を振り回されたくない！と未婚で2人の子どもを育てています。9歳くら
いから手に職をつけて自立するのだ！いろんな人とのつながりの中で子育てをするのだ！と
考え生きてきたので愛育活動に参加できたことで一つ目標が叶いました。

昨今は人口減少に伴い人的資源も枯渇しているのでLINEグループで情報共有するなど
ICTを活用し時間と距離に縛られない活動を微力ながらも勤めています。

「自立とはたくさんのつながりを作ること」コロナ禍で親に何かあった時、子どもたちの対
応をどうするか真剣に考えた方も少なくなかったのではないのでしょうか？

不測の事態に備え互いに助け合える助援力の構築。育まれてきた家庭環境がどうであれ自
分で家族や地域を再構築し幸せを手に入れる。そんな人づくりをしていけるようこれからも
愛育の活動で共に学び共に励まし共に労い合うゆるい仲間づくりがしていけたら嬉しいです。

手記 佳作

愛育活動に出会えてよかった

岡山県 岡山市愛育委員協議会
池上 展子



「地域の皆さんのおかげで現在があるのだから、地域の方々のために恩返しをするのがあなたの役目」と言い残して、翌日母は逝きました。当時私は、介護と地区会長を両立していました。愛育委員の仲間入りをしたと同時に会長になり、以来28年になります。最初の活動は、家庭からの廃油を回収して石鹸作りをすることでした。各地域を廻って石鹸作りを行い、雑談で盛り上がったことが懐かしく思い出されます。

現在は、生後4か月までの赤ちゃんに絵本を持って訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」をはじめ子育て支援にも協力しています。多くの赤ちゃんに会わせていただける幸せをいただき、命の重みを感じています。また、特定健診やがん検診の普及啓発、栄養委員さんと協力して75歳以上の方にお寿司を配布、「愛育だより」を発刊し地域住民に健康情報を届けるなど、さまざまな活動を行っています。

年度最後の定例会では「周囲に優しい人たちがいると自然にどんどん自分が優しくなっているのに気づきます。愛育委員をしてよかった」という委員の言葉に心打たれたこともあります。「こちらこそたくさんの優しい方々に支えられ、感動をいただき今日まで歩んで来られました」とお礼を言い、会長としての喜びを感じています。

地域の方々の心身の健康のため、愛育活動を安心してできるのも、仲間のお陰であることは言うまでもありません。多くの先人たちのおかげで、岡山市愛育委員協議会は間もなく発足60周年。5,000人を超える愛育委員が、世の守り、光、力となるよう活動しており、その一員に加えていただけることは誇りです。魅力的な方々に囲まれ、彩られ、幸せを感じながら、生かされることに感謝しています。どう生きるべきかの母の遺言を果たしているのか自問しながら、微力ながらひたすら、愛育委員をさせていただくことで応えていきたいと思っています。

手記 佳作

健康は「キョウヨウ」と「キョウイク」

大分県 玖珠町愛育健康づくり推進協議会
宿利 忠明



私の住む玖珠町は、4地区それぞれに愛育健康づくり推進協議会があります。

私が八幡地区の健康づくり推進委員になった平成29年4月の総会で会長が決まらず、何の活動も出来ないまま9月になりました。会員の中から、このままでは会が解散してしまうのではという声上がり、これまで活動してきた人たちに申し訳ない気持ちから、私で良ければと会長の職を受けました。

担当の保健師さんの助言や協力を得て、副会長と事務局の三人体制で「自分たちの健康は自分たちでも守る！」をスローガンに、5つの事業目標を柱として活動を進めています。

町全体の活動として「元気応援フェスタ」と生涯現役を目指した「われら現役大会」を開催しており、大会にて4地区持ち回りによる健康劇を行っています。役員皆に声をかけ、自覚症状がないため日頃の生活習慣や、年1回総合健診を受け病気の早期発見・治療につなげる大切さを、ユーモアを交えて演じました。会場は笑いに包まれ、劇が終わると拍手喝采でした。こうして、会にまとまりが出来、活動がスムーズに進められました。

そんな時、コロナ禍で大会等事業が出来なくなり、人が集まることが難しくなりました。そんな中でも出来ることないか皆で意見交換を行い、「町内のお達者高齢者の日常を紹介することで、生涯現役の一助になるのでは」と考えました。4地区から2名ずつ80～90歳代の元気なお達者さんの座右の銘、楽しみ、元気の秘訣、1日の過ごし方、大切にしていることをインタビューし、玖珠町のお達者に聞く！「生涯現役の秘訣」というパンフレットを作成、全戸配布しました。共通していることは、「キョウヨウ」と「キョウイク」です。「今日用がある」「今日行くところがある」です。これが元気の秘訣だと思います。

これからも「今日用がある」「今日行くところがある」活動を進めてまいります。